市制70周年 つなぐ YEAR 始まります

あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、土岐市の発展にご協力をいただきましたことに、心から感謝いたします。

土岐市は昭和30年2月1日に市制が始まり、今年70周年を迎えます。あらためて振り返れば、当市は美濃焼を基幹産業として発展し、その最盛期には市内の就労人口も製造品出荷額も8割以上を窯業関係が占めていました。

大きな転機を迎えたのは、平成17年の東海環状自動車道の開通です。東西に貫く中央自動車道に加え、南北の大動脈となるこの道路によって豊田市方面とのアクセスが飛躍的に向上しました。時を同じくオープンした土岐プレミアム・アウトレットをはじめ、まちゆい、そしてイオンモール土岐が開業したことで、県内でも有数の交流人口が多い地域となりました。市制施行当時の人が今の土岐市を見たら、大変驚かれるのではないでしょうか。

私たちのまちが、時に困難に向き合いながらも成長を続け、今日を迎えられたのは、70年の刻(とき)をつないできた一人ひとりのおかげです。

市では市制記念日である2月1日から1年間、さまざまな記念事業を行います。キーワードは「つなぐ」です。皆さんと新しい時代へ歩みを進める機会にしたいと思います。

市政運営では、「愛着のもてる　まちづくり」「地域を支える　ひとづくり」「健やかでいきがいのもてる　暮らしづくり」を柱として、自助・共助・公助による防災力向上に努めるとともに、教育環境の向上や読書推進など、質の高い教育の提供に取り組みます。また、いつまでも健康で生きがいを持って暮らせるまちを目指し、健康寿命延伸の環(わ)をさらに広げます。

本年も皆さまの幸せが続く施策に取り組んでまいります。一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまにとって実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

70周年のロゴマークとともに、「つなぐ」１年にしましょう。

土岐市長　加藤淳司

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。市議会を代表いたしまして謹んで年頭のごあいさつを申し上げますとともに、日ごろの市議会に対するご理解ご支援に対し、心より御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で地震、豪雨、猛暑などの自然災害が発生しました。いつ起きるか分からない災害に対応できる強いまちづくりのため、市議会といたしましても、しっかりと役割を果たさなければならないと考えます。

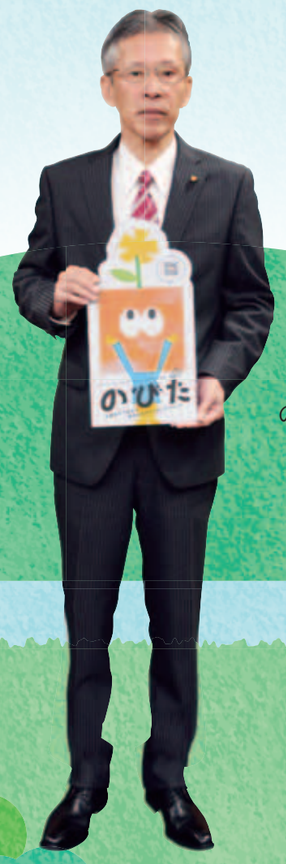
さて、現在、地方が抱える大きな問題は、人口減少、少子高齢化問題はもちろんのこと、人手不足、世界規模でのエネルギーや食料価格の高騰などがあり、これらは想定を上回るスピードで深刻化しています。

そうした中で、市民の皆さまが安全・安心で豊かな暮らしを享受することができ、住んで良かったと実感できるまちづくりを推進するため、市議会では、その役割と責務を果たすための活動に取り組んでいます。

その一環として、昨年は議会報告会を、市内6カ所において、より多くの意見を伺うため、市民の皆さまと議員による「グループ討論方式」により開催いたしました。市議会の活動報告のほか、「公立東濃中部医療センター」「新博物館」「人口減少対策」「子育て支援対策」の4つの事業について直接意見を聴かせていただき、市議会が取り組むべき課題を再確認することができました。

市議会では、活動を広くご理解いただくため、「議会だより」を発行するとともに、本会議のインターネットでのライブ中継・録画配信のほか、ケーブルテレビで一般質問のライブ中継を行っています。これからもより身近で開かれた議会を目指し、活動してまいりますので、さらなるご理解とご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

結びに、本年も皆さま方におかれましてはご健勝で希望に満ちた実り多い年でありますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



市民企画事業「のびた」で市民の皆さんの思いがどんな形になるか楽しみです。

土岐市議会議長　西尾隆久